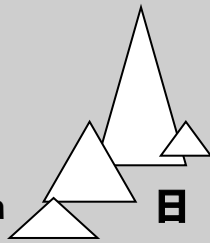


**N**outh **E**ast

**W**est **S**outh



日本各地の話題

文責 小野盛光

## 白い藪は立ち入り禁止



長しています。秋に土入れした竹林はフカフカで、地中で早く、大きく育ち市場価格も高くつきます。多くの人に踏まれてはたまりません。地主さんが厳しく立ち入りを制限するのは当然のことです。

参加者自身が立ち入らないように注意するのは当然ですが、運営者も参加者が立ち入る可能性があるようなコース設定が慎むべきです。

タケノコの産地としては京都西部の長岡京市や山崎町が有名ですが、日本中広く栽培されています。手入れされていない竹林や杉やヒノキの林を侵食し迷惑な竹林が多いのが現状ですが、白い竹林は大事な竹林の証拠なのでご注意ください。

40年も昔ですが、4月の大会で竹林の近くに設置したフラッグを地主さんに外されてしまったことがあります。タケノコ盗掘の目印と思われたようです。

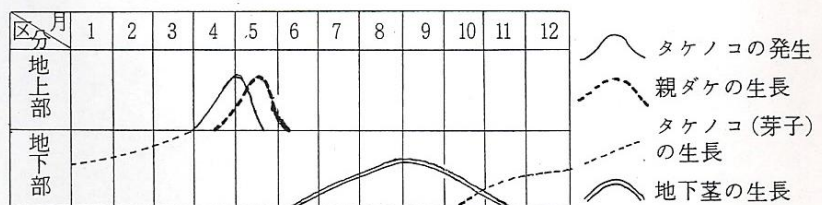
わけのわからない見出しですが、特にこれからのシーズンに注意していただきたいことです。

藪とは竹藪すなわち竹林のことです。近年放置されっぱなしのいわゆる藪が多い中で、写真のような竹をしっかり間伐し、光が地上まで差し込むようによく手入れされた竹林は耕作地と同じ意味があります。それはタケノコを獲るためです。

タケノコは放っておいても獲れますが、良いタケノコを大量に収穫するためには図1の下に書いたように年間を通じた手入れが行われます。大変な労力をかけており、耕作地と同じように大事な収入源です。放置した竹林に対して、さすがに手をいれ、資金をかけた竹林でとれたタケノコは上質で高価に販売出来るうえに収穫量も飛躍的に増えます。

タケノコの生育の状況ですが、10月中旬から地下で成長を始め、3月には地上直前に達します。冬から春にかけては目に見えなくても地下で作物が成

図1. タケの年間の生育



### 年間の手入れ

1月中旬から2月中旬 タケノコの育成のための施肥 5月中旬 疲れた竹に栄養補給の施肥 8月と10月にも竹にパワーをつけるための施肥 夏場の除草  
10月～12月に新しい土をいれる。

